

みえ働くサステイナラボ

**(ジェンダーギャップ解消のための女性の意見を聴く会議)
に係る報告**

令和6年5月21日

ダイバーシティ社会推進課長 太田和恵

みえ働くサスティナラボの開催概要

テーマ 働く女性が考えるみえのミライ

開催趣旨 ジェンダーギャップの解消に向けて、働く女性の目線で「こうすればもっと働きやすい！暮らしやすい！」を考え、提言としてまとめるとともに、異業種で働く参加者同士の交流を通して、参加者がキャリア・ライフプランを見つめ直す機会とするもの。

対象者 県内企業・団体に働く若手・中堅女性（15社28名）

開催日時 第1回 令和5年 9月21日（木）

第2回 令和5年10月18日（水）

第3回 令和5年11月27日（月）

総括コーディネーター 萩原 なつ子さん

独立行政法人 国立女性教育会館 理事長

環境生活部の取組（抜粋）

働く女性のロールモデルとの交流会

働く女性自身のキャリアの継続や、キャリアアップに対するモチベーション向上のため、女性リーダーとして活躍しているロールモデルと若手・中堅女性との交流・意見交換を行う。

交流会では、ロールモデル自身の挫折や苦勞、ライフイベント等をどう乗り越えたかを含めた体験談を伺うとともに、参加者同士での交流を行う。



環境生活部の取組（抜粋）

企業等トップ層向けのワークショップ&本気宣言

ジェンダーギャップを解消し、誰もが家庭でも仕事でも活躍できる「令和モデル」の社会・職場環境づくりを目的に、中小企業等のトップ層・管理職を対象とした、意識啓発のためのワークショップを行う。

また、ワークショップ参加企業を中心に、「令和モデル」社会の実現に向けたトップ等の「本気宣言」をWeb記事やポスター等で紹介することで、意識啓発の風を起こす。